

# 平成22年度 予算編成方針について



小林喜美治議員

## ◇予算編成方針について

【質問】今議会に22年度の予算編成方針が示されているが、国・地方の状況、飯山市を取り巻く状況等どのように分析され、予算編成に臨むのか。歳出において経常経費も含めた総枠配分方式の実施など、歳出に耐えうる予算編成とあるが、どのくらいの縮減になるのか。

【市長】就任以来3年間、市民協同の中で行ってきた。借金の返済も進み公債費比率も21年度には17%への見込みとなった。22年度は新幹線・学校の問題をふまえながら、財政が不足する場合には基金の取り崩しも行い、しっかりと事業展開を図り、市政発展に寄与できるものになりたい。市民、議会の意見を大事にしながら取り組んでいく。

【部長】予算編成はさらに厳しくなることを予想している。総枠配分については前年比99・1%で予算編成を進めたい。

## ◇駅周辺地域の開発計画について

【質問】秋津地区の土地利用計画について、平成6年の第1次国土利用計画飯山市計画において国道



秋津地区計画的開発ゾーン

117号静間バイパスは、市街地ゾーンの公益性・商業区域に指定され、開発が集中的に行われ現在に至っている。急速な都市化に伴う弊害も顕著に。5年後の新幹線駅の開業を考えると一層の土地利用の高まりが予想される。こうした状況の対応策は。

【副市長】第2次国土利用計画をもとに進めるが、秋津地区は新幹線開業に伴う開発が予想される。計画的開発ゾーンとして位置づけ、都市計画区域の編入も含め現在検討している。

# 西大滝ダムの 問題点について



大野峰太郎議員

【質問】平成18年7月19日豪雨で西大滝ダムを流下した洪水流量は、どれ位だったのか。

【答弁】東京電力に確認したところ、毎秒7528m<sup>3</sup>。

【質問】西大滝ダムの設計洪水水位及び設計洪水流量はどれ位か。

【答弁】設計洪水流量は毎秒5565m<sup>3</sup>、設計洪水水位は標高295.3m。

【質問】設計洪水流量との差1963tの水はどこから流れたのか。

【答弁】東電からは、ダムに到着した流量がゲートから安全に流下したことを確認していると聞いている。

【質問】固定堰と導水壁残骸に囲まれた中は堆砂で満杯状態。地域の治水を考えるには西大滝ダムの水利権を止め、湯滝の浚渫とダム地点の浚渫が最善であると考えている。

【答弁】水系一貫での取り組みや、上下流バランスのとれた対策が重要。信濃川水系基本方針に基づいて具体的な整備計画を国が作成中。まだ案の公表は無い。

【質問】市内の度重なる洪水被害住民の意見として次の3点を県知



西大滝ダム放流時の堆砂状況

事に伝えられたい。①西大滝ダム地点の河床・川幅の復元と現行河川法に適合する堰柱間隔40mの堰堤に改修すること。②固定堰と放置されている導水壁を撤去し、堆積土砂を排除すること。③計画高水流量9000tに対応できる設計洪水流量を確保し、上流地域に増水の影響が無いことを確認するまでは水利権更新を認めないこと。

【答弁】市の意見を求められた時は、議員の意見もふまえながら今の西大滝ダムの状況についてそのまま伝えるつもりでいる、ご理解を。

# 日米FTA反対と コメ再生産保障実現の世論を



高橋正治議員

## ◇農政問題について

【質問】民主党が日豪EPA（経済連携協定）、日米FTA（自由貿易協定）の推進を掲げていることも不安を大きくしている。コメの再生産を保障し、新所得補償制度を確立し輸入の野放しを許さない、国民的世論と運動を広げることが必要であると思うがその認識は。

【市長】個別所得方式を掲げながら、FTAを認可していくという形をとらせてはならない。

【質問】アスパラ対策については、今回示された3ヶ年計画では、初



年度のみでその後の計画が示されていないが、何か新しいことを考えているのか。

【部長】21年度までの状況を総括して、事業評価も行い検討していきたい。JAとも相談しているが、アスパラについては引き続き振興していきたいと考えている。

## ◇医療費・福祉問題について

【質問】飯山市において現在行われている各種検診、特定検診、人間ドックなどの状況と成果は。

【部長】人間ドックの受診状況は20年度363人、今年度は11月末現在207人で、6名からがんが発見されており、一定の効果があつた。

## ◇石田市政4年目の評価について

【質問】飯山市の人口増対策の移住定住策に、個人住宅の建設補助、アパート建設に対する補助、空き家活用など、様々な施策を行ってきたがどのような変化が生まれているのか。

【部長】平成18年度から個人住宅では35件、アパート建設では12棟80戸、280名の定住者を迎えることができた。

# 広域行政について



望月弘幸議員

## ◇広域消防について

【質問】東北信一本化するか、東信と北信の二本部制とするか枠組みを固めると聞くが、雪国で大雨の洪水地域でもあり、過疎地域の岳北一市三村である。何よりも生活習慣が違う中、職員の体制が危惧するところ。市長の考えは。

【市長】岳北の長として毎回地域の実情に合った取り組みが必要と提言しており、東北信一帯に対してかなりの温度差がある。今後も岳北地方のために取り組む。

## ◇岳北広域について

【質問】北信広域よりもまず岳北広域で足並みを揃え、観光行政にしても戦略をしっかりと打ち立てるべき。新幹線も目的の地までの総てが観光であると考えたい。足腰の強いしっかりとした岳北広域にする必要が大事と思うが。

【市長】岳北一帯は今後も一体化の中で取組んでいく。新幹線に対しての観光産業が今後大事になる。

## ◇選挙について

【質問】過日の衆議院議員選挙の期日前投票は過去最高の投票率で

あつたとき。松本市では駅の自由通路に臨時の投票所を開設し、盛況だったとの報道があつたが、飯山市でも研究したらどうか。また、若い層が政治、行政に興味の湧くような取り組みが必要と思うが。

【選管委員長】期日前投票は制度の浸透等により投票者数が伸びている。会場は市役所の4階に設置し、増設は現状では難しい。若い有権者向けには成人式で啓発活動を行い選挙に関心を持つってもらうよう働きかけをしている。



期日前投票所の様子